

令和3年度 学校生活相談センターの相談状況について(2月末現在)

心の支援課

◆件数・回数の同期比較◆

	前年度 R2年度2月末	→	本年度 R3年度2月末	
相談件数	772件	→	715件	(57件 減)
延べ回数	1,206回	→	1,131回	(75回 減)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	291	40.7%	413	36.5%
	夜間・休日	304	42.5%	540	47.8%
文書 (メール・FAX・手紙)	120	16.8%	178	15.7%	
来所	0	0.0%	0	0.0%	
計	715	100.0%	1,131	100.0%	

2 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	270	37.7%	477	42.2%
女	300	42.0%	464	41.0%
不明	145	20.3%	190	16.8%
計	715	100.0%	1,131	100.0%

3 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	240	33.6%	369	32.6%
本人	235	32.9%	362	32.0%
本人以外の子ども	5	0.7%	7	0.6%
大人	439	61.4%	713	63.0%
父	74	10.3%	119	10.5%
母	282	39.4%	490	43.3%
祖父	4	0.6%	8	0.7%
祖母	15	2.1%	20	1.8%
その他の大人	64	9.0%	76	6.7%
不明	36	5.0%	49	4.4%
計	715	100.0%	1,131	100.0%

4 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	7	1.0%	8	0.7%
小学生	166	23.2%	255	22.6%
中学生	177	24.7%	324	28.6%
高校生	250	35.0%	395	34.9%
その他	72	10.1%	88	7.8%
不明	43	6.0%	61	5.4%
計	715	100.0%	1,131	100.0%

5 相談の主訴 ※相談者の立場が不明（分類不可）だった相談を除く

(1) 子どもからの相談

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	23	9.6%	27	7.3%
	不登校・登校渋り	11	4.6%	24	6.5%
	暴力問題	0	0.0%	0	0.0%
	異性関係・性の問題	8	3.3%	20	5.4%
	対人関係・友達関係	33	13.7%	49	13.3%
	非行・不良行為	1	0.4%	1	0.3%
	心身の疾患・障がい	9	3.8%	16	4.3%
	学業・進路	18	7.5%	33	8.9%
	自分関連(性格など)	34	14.2%	50	13.6%
	インターネット・ゲーム関連	2	0.8%	3	0.8%
学校・教師に関すること	52	21.7%	76	20.6%	
家庭・私生活に関すること	26	10.8%	36	9.8%	
意見・問い合わせ	11	4.6%	13	3.5%	
その他	12	5.0%	21	5.7%	
計	240	100.0%	369	100.0%	

(2) 大人からの相談

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	47	10.7%	66	9.3%
	不登校・登校渋り	69	15.7%	109	15.3%
	暴力問題	0	0.0%	1	0.1%
	異性関係・性の問題	2	0.5%	9	1.3%
	対人関係・友達関係	27	6.2%	48	6.7%
	非行・不良行為	2	0.5%	2	0.3%
	心身の疾患・障がい	9	2.0%	16	2.3%
	学業・進路	13	3.0%	26	3.7%
	自分関連(性格など)	1	0.2%	1	0.1%
	インターネット・ゲーム関連	5	1.1%	6	0.8%
学校・教師に関すること	138	31.4%	204	28.6%	
家庭・私生活に関すること	44	10.0%	119	16.7%	
意見・問い合わせ	58	13.2%	70	9.8%	
その他	24	5.5%	36	5.0%	
計	439	100.0%	713	100.0%	

6 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
関係機関へ連携した案件	75	10.5%	107	9.5%

主な連携先(延べ回数)

小中学校(私立含む)	… 34回	警察関係	… 1回
高等学校(私立含む)	… 31回	児童相談所	… 1回
県教育委員会(教育事務所含む)	… 32回	こども・家庭課	… 5回
市町村教育委員会	… 11回	私学振興課	… 3回

結果の概要

- ・本年度2月末時点での相談は715件、延べ回数は1,131回で、前年度より件数・回数ともに減少している。
- ・男女別では、相談件数は女子に関する相談が多いが、延べ回数では男子に関する相談が多い。
- ・子どもからの相談では、「学校・教師に関すること」が最も多く、次いで「自分関連(性格)など」「対人関係・友達関係」が多い。
- ・大人からの相談では、「学校・教師に関すること」が最も多く、次いで「不登校・登校渋り」が多い。
- 《2月の特徴》
- ・月別の相談件数は、35件と今年度最も少なかった。学校が分散登校や休校になり、学校生活に関する相談が減少した影響が窺われる。
- ・「意見・問い合わせ」の内容として、新型コロナウイルスに関するものが目立った。